

大王のひつぎを運ぶ実験航海

わたしたちと人権

シリーズ②

第1部 プロローグ

現在、全国的な注目を集めている馬門石。宇土を舞台にした日本古代史上の謎に皆さんも挑んでみませんか。

第三回 古代船の謎に挑む

重さ6トンの石棺を運んだ船はどのような構造だったのか？

「大王のひつぎ実験航海」の構成団体・石棺文化研究会（石棺研）のメンバーの前に大きな壁が立ちはだかりました。



復元する古代船の模型

そこで、古代船に詳しい松本哲先生（神戸商船大学名誉教授）に復元案の作成をお願いし、出来上がった案を石棺研メンバーとともに検討することになりました。

松本先生は、重い石棺を船に直接載せると安定が悪く沈没の危険があるため、石棺を※**双胴船**に載せて古代船でひつばる案を考えました。

しかし、推進力の問題が指摘され、復元は白紙に戻ります。

その後も論議は数ヶ月にわたり二転、三転・・・復元はまさしく「暗礁に乗り上げ」かけましたが、最終的には石棺を載せた丸太船を古代船で引く案に決定しました。

秋には完成

現在、福岡市志賀島にある藤田造船で古代船製作が着々



実験航海のイメージ図

と進んでいます。今年秋に完成、博多湾で進水式が予定されています。次回は、「石棺の原石を求めて」です。

※**双胴船**・・・丸木船を平行に並べた船。

問い合わせ先 市文化振興課文化財係 ☎②6500

「児童の権利に関する条約」のあらまし

「児童の権利に関する条約」（子どもの権利条約）は、平成元年、国連で採択され、平成6年に日本でも批准（ひしん）されました。この条約では、18歳未満を子どもとし、子どもの健やかな成長を保障し、子どもを一人の人間として尊重しなければならないとされています。

子どもにもプライバシーがある



子どもにも知られたいくないことや見られたいくないものがあります。そっと心の中にしまっておきたいことだってあるのです。（第16条）

子どもをひどいめにあわせてはいけない



大人は子どもに対して心や体に暴力をふるったり、傷つけたり、放っておいたり、性的暴力をしてはいけません。子どもには「子どもにとってよくないこと」から守られる権利があるのです。（第19条、第34条）

子どもには教育を受ける権利がある



子どもには教育を受ける権利があります。どの子どもにも教育を受ける機会が平等に与えられなければなりません。（第28条）

ありがとう 自然に言える 人になる

平成15年度宇土市人権まつり入賞作品

走潟小学校6年 芥川 碧

担当 市教育委員会生涯学習課 ☎②6500（代表）